

平成19年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会						
①	指標名	地域社協育成関係研修回数			目標値	市民社協職員 2回 地域社協リーダー 2回	実績値	市民社協職員 3回 (4名) 地域社協リーダー研修 1回 (35名)
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	75%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: )			1回				
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 (市民社協職員対象研修) 東京都社会福祉協議会主催の基幹職員を対象とする「コミュニティワーク研修」「指導的職員研修」「小地域福祉活動支援への支援」に参加した。 (地域社協運営委員対象の研修) 役員及び運営委員を対象として「市民社協と地域社協の役割・課題・将来展望」をテーマに話し合った。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 目標では内部研修も計画したが、実際には東社協が主催する研修で、地域社協活動を取り上げた内容豊富なものがあつたのでそれに参加した。 地域社協のリーダーを対象とした研修については、地域の意見を聞きながら今後も開催していく。							
二次評価	地域福祉の向上を図るためには、社会福祉協議会の職員の地域福祉に対する熱意と地域の社会基盤、人材、資金を有効にコーディネートしていく資質が求められる。平成19年度は東京都社会福祉協議会が実施する「コミュニティワーク研修」など社協職員に求められるスキルの研修に参加したことは評価できる。今後も社協職員としてのスキルアップに繋がる研修への参加を期待したい。また、地域社協のリーダー研修は目標の年2回実施することはできなかった。地域社協のリーダーにも社協職員と同じようにコーディネート力が必要であるので、このような視点からの研修の充実を求めたい。また同時にリーダーだけに研修対象を絞るのではなく、次世代を睨んだ後継者作りのための研修の企画にも努める必要がある。							
②	指標名	会費収入			目標値	500万円	実績値	4,701,000円
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	94%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: 千円)	4,921	4,658	4,628				
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①会員増強月間中の取り組み(七夕のつどい)新規入会者の獲得 ②新規入会者相当分会費の地域社協への還元(1年間のみ) ③地域社協運営委員会、ボランティア講座、老人クラブ連合会、商店会連合会などで会員の勧誘を積極的に実施 ④青空市、さくら祭り、境自動車教習所イベントで会員加入を目的としたチラシの配布						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 (会員の増減)個人会員 4.3%増 団体会員 1%増 賛助会員 0% (会費収入)全体 1.6%増 個人会員 1%減 団体会員 3.8%減 賛助会員 15.1%増 (今後の取り組み)賛助会員の増加は困難である。個人及び団体会員の増加に努力していく。会員増強計画策定中。							
二次評価	平成19年度の会費収入は前年度に比べ微増となったが、目標には届かず、平成16年度の会費収入よりも低い水準にとどまっている。自治会のない当市の状況から会費の大幅な増収は困難な面もあるが、事業型社協になったことをきっかけに社協の地域福祉への貢献度・存在感をアピールし会員の増加に努力する必要がある。また会員増強計画を策定中とのことであるので、実効性の伴った計画とし、会費収入の増加に努める必要がある。							
③	指標名	業績評価制度			目標値	平成20年度導入	実績値	未実施
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	0%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: )			資料等収集				
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 東社協及び都内他社協で既に取組んでいるところから聞き取り調査を行い、実施に伴う問題点等の把握に努めた。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 平成20年度中の導入を目途としたが、実施時期については問題点の整理、解決、また制度のメリットなど十分研究し、平成21年度の導入に向けて努力する。							
二次評価	18年度の目標であった「人事考課制度」についても未達成であり、19年度の「業績評価制度」についても「問題点等の把握に努めた」との実績にとどまっている。東京都社会福祉協議会や他の社会福祉協議会での実績もあることであり、早急に問題点の整理を行い、地域福祉の中核的な役割を担う団体としての自覚を一層高め、職員の人材育成とモチベーション向上に繋がる業績評価制度を構築・運用すること。							